いきいき東郷２１（第３次）策定に向けた

資料３

各課・関係機関ヒアリング調査結果報告

令和5年2月

**１　調査の目的**

　　いきいき東郷２１（第３次）の策定に当たり、各課及び関連機関に、今後の健康づくりに関する取り組みについてご意見を伺う事を目的とする。

**２　実施期間**

　　令和５年1月31日から2月24日（金）まで

**３　対象団体**

　　高齢者支援課（高と記載）、こども保育課（保と記載）、子育て応援課（子と記載）、保険医療課（保険医療と記載）、学校教育課（学と記載）、健康推進課（健と記載）、生涯学習課（生と記載）、中学校養護教諭（中と記載）、小学校養護教諭（小と記載）、給食センター（給と記載）、瀬戸保健所（瀬と記載）

**①現在の取組状況**

**以下、各団体からの意見（要旨）**◎は中間評価（H30）以降に開始した（する）事業

**運動・身体活動**

**・コロナ感染防止のため親子ふれあい会は中止。（保）**

**・園庭に築山を作りタイヤやコンテナ等を組み合わせ身体を使って園庭で遊びこめる環境を作っている。（保）**

**・幼児体育遊びは職員が主となり取組を行っている。（年齢・発達に応じた内容を取り入れている。（子）**

**・リズムジャンプ・運動遊びは長期学校休業日を中心に行っている。また、戸外での遊びに、縄跳び、マラソン、鬼ごっこなどを取り入れ基礎体力づくりの励行をする。（子）**

**・子ども企画、行事のスタッフ活動を通して子供たちが協力して企画、運営を行えるよう支援している。（子）**

**・教員も児童とともに外遊びに参加をして、クラス全体で外遊びを実施する機会を設ける。全体に呼びかけ、外遊びをする雰囲気を高める。（小）**

**・部活動の活動時間が削減される中、短い時間で集中して取り組むことができている。（中）**

**・ボート普及活動として、ボート体験会及びボート教室を実施している。（生）**

**・レクスポの日は実施目的が達成されたことから令和３年度末に事業廃止とした。（生）**

**・老人クラブ連合会と町共催で年3回のスポーツ大会を開催している。（高）**

**・老人クラブ活動の活性化に資するため、シニアハウス利用者が安心して利用できるよう維持管理に努める。（高）**

**・団体に対して、会場使用料、傷害保険料の一部を助成している。また活動の中に運動を取り入れ、かつ体力測定を実施した団体には、上記に加えて運営費の一部と、新規団体には立ち上げ支援費を助成している。（高）**

**・介護予防普及啓発事業を町内にある２か所の各地域包括支援センターで実施した。（高）**

**・令和３年度に介護予防サポーター養成講座を実施し、新規８名がサポーターとなった。連絡会及び研修会を実施した。地域の拠点を増やし、介護予防事業での活動の場を増やした。（高）**

**・住民に身近な地域を拠点とし、公民館等を活用した介護予防教室の開催に重点を置いて取り組んでいる。地域づくりも視野に入れて実施。その他、介護保険施設や民間企業等を活用した教室を開催。（高）**

**休養・こころの健康**

**◎「ちょうど級とうごう出産・子育て応援事業」を通し、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目なく相談に応じ、必要な支援に繋ぐ「伴走型相談支援」と経済的な負担軽減を図る「経済的支援」を一体として実施している。（健）**

**・母子健康包括支援センターで妊娠期から子育て期にわたる母子保健や育児に関する様々な悩み等に対応するために、保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施している。（健）**

**・親子遊びを月2回程度行っている。ただし、内容によっては参加組数の制限をかけている。（年齢・発達に応じた内容を取り入れる）（子）**

**・親子ふれあい交流事業においてボランティアによる読み聞かせを月１回行っている。（子）**

**・保護者のみの交流の場として「ママカフェ」を月1回開催している。（職員が子どもを見る）（子）**

**・父親との遊びは土曜日にファミリー行事として取り入れている。（子）**

**・年2回の個人懇談だけではなく登降園で子どもの様子や保護者への育児相談を受けている。（保）**

**・コロナ感染防止のため人数制限をして園庭開放を行った。（保）**

**・子ども相談を通して子育てに関する悩みごとの相談など、安心して子どもを産み育てることができるよう相談、支援を行う。（子）**

**・要保護時相対策地域協議会で要支援児童等の情報の集約及び支援方針等の検討を実施。（子）**

**・民生委員に支援が必要な家庭の見守りや虐待等が懸念される家庭の情報提供を依頼している。（子）**

**・県教委の「スクールカウンセラー事業」として全小中学校を対象に、週１回訪問し、児童**

**生徒・保護者・教職員への教育相談を実施する。各中学校に１名、３小学校当たり１名の**

**計５名を配置（小・中）**

**・不登校となっている児童生徒・保護者に対し、学校復帰に向けて支援する。（小・中）**

**◎スクールソーシャルワーカーが学校だけでは対応が困難な問題に対し、児童生徒を取り**

**巻く環境に働きかけ、関係機関、学校、家庭が連携するためのコーディネートを行う。３**

**名配置（小・中）**

**◎心の教育相談員の配置。小学校は、６校のうち４校に、中学校は３校全校に配置（小・中）**

**たばこ・アルコール**

**◎健康増進法の改正に伴い、各種機会をとらえて、受動喫煙防止のための対策について周知を行っている。（瀬）**

**歯・口腔の健康**

**・食後の歯みがきは行っていない。うがいのみ。（保）**

**・年長のみ週1回フッ化物洗口を行っている。（保）**

**・感染予防を考慮しながら、学校歯科医及び歯科衛生士を講師として歯科指導を行っている学校もある。給食後の歯みがきは、学校歯科医の指導でほとんどの学校で中止している。（小・中）**

**・集団フッ化物洗口が適切に実施できるよう「フッ化物洗口確認シート」を用いて精度管理支援を実施している。（瀬）**

**健康管理**

**・ハンカチ、ティッシュの持参は声掛けしているが園内にペーパータオル、ティッシュを置き丁寧に行えるよう指導している。（保）**

**・薬物乱用防止教室の実施。薬物だけでなく、保健等で喫煙についての学習にも取り組んでいる。（小・中）**

**◎受験生（15歳、18歳）に対するインフルエンザ接種費用助成。（健）**

**◎企業と包括連携協定を通した各種健康づくり事業の実施（健）**

**◎特定保健指導利用勧奨のために40～64歳の対象者に対しICT保健指導の利用勧奨を行っている。（保険医療）**

**・トレーニングジムを活用した個別支援を実施している。（保険医療）**

**◎糖尿病腎症重症化予防事業や生活習慣病重症化予防事業を町内医療機関と連携して実施している。（保険医療）**

**・出張で回想法を取り入れた講座を実施。その他運動を中心とした教室のプログラムにも認知症予防の内容を取り入れる。（高）**

**食を通じた健康づくり**

**・保育園は、管理栄養士が作成する献立表を活用して、食の大切さについて伝えた。小中学**

**校は、試食会等で栄養教諭が保護者に食の大切さについて伝えた。（給）**

**・保育園は、献立表で規則正しい食生活の大切さを伝えた。小中学校は、朝ご飯をテーマと**

**する栄養指導を実施した。（給）**

**・毎月１回身体測定を行い、帳面等で保護者に知らせている。（保）**

**・新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、可能な限り指導要領にのっとった指導を行っている。調理実習は感染防止対策をしながら、可能な限り実施している。（小・中）**

**・小中学校で栄養教諭による栄養指導を実施した。（給）**

**・身体測定を実施し、成長曲線を作成したり、肥満度を算出したりして担任へ報告し、様子を見てもらっている。必要に応じて個人懇談会等でも家庭に働きかけをしている学校もある。（小・中）**

**食で育む豊かなこころづくり**

**・コロナ禍ということで十分に調理体験ができていない。（保）**

**・調理や食事以外で食文化、郷土料理について触れるようにしている。（子）**

**・新型コロナウイルス感染症予防のため調理・試食は行わない。栽培・収穫などの体験を通して関心を持たせる。（子）**

**・技術科での野菜栽培。家庭科での調理実習の実施は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。（中）**

**・ふるさと農園の利用率は高く、また３年の延長利用期間終了後も引き続き利用申請するなど目的はほぼ達成されている。（産）**

**環境に配慮した食の推進**

**◎東郷町産のお米（米粉）、トマト、柿、ローゼル、かぼちゃなど提供した（小中学校は一**

**部の食材を公費負担で提供）。（給）**

**◎東郷町産の有機野菜も積極的に提供した。（給）**

**◎東郷町産米粉を使った米粉めんを小中学校と保育園で提供した。（給）**

**◎規格外の東郷町産野菜を加工し、愛知県の郷土料理などにして提供した。（給）**

**◎軽トラ市を毎月第２第４土曜日の諸輪住宅、年３回の清水地区のほか、西白土地区、白土地区で毎月と押草団地南地区において年３回の試行開催を実施している。（産）**

**・令和４年度は収穫祭（販売実習）を再開し、文化産業まつりを盛り上げた。（産）**

**食育を支える取り組み**

**・手洗いや食品の温度管理を徹底している。調理従事者が衛生講習会に参加し、衛生管理の**

**意識向上を図った。（給）**

**◎町内飲食店監修レシピを町内農家の協力のもと、保育園給食で提供し、交流給食を実施した。（給）**

**◎町内スーパーへ献立情報提供を行い、給食の理解促進を図っている。（給）**

**・各種機会をとらえて、食育推進体制の充実の普及啓発を行っている。また、登録申請のあった飲食店に対して登録証を交付している。（瀬）**

**・とうごう農学校から毎年多くの修了者を輩出しており、農家の後継者のスキルアップや新規就農に繋がっている。（産）**

**②今後の取組や課題**◎は中間評価（H30）以降に開始した（する）事業

**以下、各団体からの意見（要旨）**

**課題**

**・部活動の時間がさらに削減される。（小）**

**・生徒の体力低下を感じている。（中）**

**・運動量の個人差が大きい。（小）**

**・早寝早起き朝ごはんを進める上で家庭力の差、保護者との価値観の相違について、どう対応するか検討したい。（小）**

**・いじめ・不登校の早期発見。（小・中）**

**・新型コロナの影響で、健診を控えている方に対し、再び健診を受ける習慣となるよう、受診勧奨を強化する必要がある。（保険医療）**

**今後の取組**

**運動・身体活動**

**◎部活動において地域活動との連携を模索していかなければならない時期である。（中）**

**・「ボートのまち東郷」として、ボート競技を普及するとともに、ボートを通じた町民の体力向上と相互の親睦が図れるよう支援していく。（生）**

**◎旧和合保育園を活用して新たな活動拠点として利用できるように計画中である。（高）**

**・住民主体の活動が地域で増えるよう、支援を継続していく。住民主体の活動が増えてきていることから、助成内容の一部見直しを検討する。（高）**

**・令和５年度は介護予防サポーターを養成する予定。（高）**

**◎地域づくりに重点を置いて、身近な地域での通いの場が継続して開催されるよう体制を整える。（高）**

**休養・こころの健康**

**◎全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う「こども家庭センター」の設置。（健）**

**◎令和5年３月につどいの広場を閉鎖し、令和5年4月に開設する太陽わごうこども園に子育て支援センターを新設する予定。（子）**

**・心の教室相談員を担っていただける人材が十分に確保できていないため、大学に対し、**

**担い手募集の案内を学生に展開していただけるよう活動する必要がある。（学）**

**・スクールカウンセラーの全校配置を目指す。（小・中）**

**◎スクールカウンセラー・心の教室相談員・スクールソーシャルワーカーの有効的な活用。**

**（小・中）**

**・学校不適応児童や保護者に対する専門機関との連携体制（小・中）**

**・生涯学習の催しは中止・もしくは延期となったイベントがあったものの、おおむね実施することができた。（生）**

**たばこ・アルコール**

**・青少年健全育成活動として各地区会で青少年を対象とした事業や活動を行っている。（生）**

**◎受動喫煙防止対策促進のため、引き続き、改正健康増進法についての周知を様々な機会を捉えて実施していく。（瀬）**

**歯・口腔の健康**

**・永久歯のむし歯予防を推進するため、地域の状況に応じて歯みがきやフッ化物洗口等歯科口腔保健の向上に努める。（瀬）**

**健康管理**

**・薬物乱用防止教育における警察・薬剤師会等の専門機関との協力。（中）**

**・生活習慣病の発症・重症化予防における保護者の理解・協力。（小・中）**

**・生活習慣病の発症・重症化予防における学校医及び医療機関との連携。（中）**

**◎いきいきとうごう健康マイレージのLINE対応。（健）**

**◎令和5年度に厚生労働省による新規事業「受診勧奨策等実行支援事業」が開始されるため、本町に即した受診勧奨方法について検討を進める。（健）**

**◎令和6年度から節目年齢者を対象に検診の受診に係る費用の助成を開始する予定。（健）**

**◎40～64歳の働き世代の利用者が増えるように、携帯端末を使い遠隔で手軽に利用できるICT保健指導の利用勧奨を強化する必要がある。（保険医療）**

**◎重症化予防事業において連携する協力医療機関を増やし、より多くの方を対象として実施する必要がある。（保険医療）**

**食を通じた健康づくり**

**・保育園で今後試食会を行い、実際の保育園給食を知ってもらい、食の大切さについて啓発を行う。（給）**

**食で育む豊かなこころづくり**

**・コロナ対策で現在実施できていない食育推進事業（親子料理教室、子供向け教室）を再開**

**する。（健）**

**・状況をみて調理、試食の再開をしていく。（子）**

**◎ふるさと農園における、利用者間交流の場の提供などを検討したい。（産）**

**環境に配慮した食の推進**

**◎軽トラ市は地区からの要請などにより実施場所が増え始めている。継続的な取組になるように努めていく。（産）**

**・軽トラ市で新鮮な野菜等を地元農家が直接販売することで生産者と消費者を直接つなぎ交流する。（産）**

**食育を支える取り組み**

**◎民間運営の調理サイトに給食のレシピを、追加掲載していく（給）**

**◎町内スーパーへ献立情報提供を行い、引き続き町民の皆様への給食の理解促進を図っていく。（給）**

**◎とうごう農学校は健康づくりや市民農園レベルの受講者も多いが、農業知識が深まることで農業・作物づくりの『体験者』として、地元産の野菜や農家の『よき理解者』としての活躍が期待できる。（産）**

**・食育推進協力店の登録店数拡大を図る。（瀬）**

**③関係機関と連携を強化していきたい活動**

◎は中間評価（H30）以降に開始した（する）事業

**以下、各課からの意見（要旨）**

**運動・身体活動**

**◎部活動の地域活動との連携。（中）**

**・家族体力づくりの日の参加者の確保が課題となっていることから、周知方法等をスポーツ推進委員と検討する必要がある。（生）**

**◎自治会や民生委員、老人クラブと連携し、住民に身近な公民館等を活用した教室や通いのの立上げを各地区で行い、地域の人同士のつながりができるような体制を整えたい。（高）**

**・老人クラブや自治会と連携して地区での健康講座を以前のように増やしていきたい。（健）**

**休養・こころの健康**

**・スクールカウンセラー・心の教室相談員・スクールソーシャルワーカーの有効的な活用（小・中）**

**たばこ・アルコール**

**・青少年育成会の各地区会等とお互いに情報共有を図り、連携を図りながら活動を進めていく。（生）**

**健康管理**

**・警察・薬剤師会等の専門機関との協力。（小・中）**

**・生活習慣病の発症・重症化予防における保護者の理解・協力。（中）**

**・生活習慣病の発症・重症化予防における学校医及び医療機関との連携。（中）**

**◎働く世代の健康づくりに関して、地域職域連携推進事業や健康増進事業（栄養分野）等で連携し、若い世代から生涯を通じた健康習慣の獲得に向けて取り組んでいきたい。（瀬）**

**◎町内の医療機関、歯科医院、薬局、介護保険事業所等と連携を強化し、在宅医療・介護に関する知識普及啓発が行える体制を整え、介護予防や認知症予防に結びつけたい。（高）**

**◎町内医療機関と連携し糖尿病性腎症重症化予防事業及び生活習慣病重症化予防事業を推進したい。（保険医療）**

**◎商工会や事業所、企業と連携し働く世代の健康づくりに力を入れていきたい。（健）**

**◎企業との包括連携協定を通して事業の周知や事業の充実につなげていきたい。（健）**

**食育**

**◎産業振興課、ＪＡあいち尾東と連携し、地産地消の促進と新たな東郷町産食材の給食提供。（給）**

**◎産業振興課や有機農家と連携し食の安全を進めていきたい。（健）**

**・軽トラ市をコロナ対策のため中止しているいこまい館での再開とそのＰＲ。（産）**

**・町外の職員が住みたくなる町づくり。（産）**

**④その他**◎は中間評価（H30）以降に開始した（する）事業

**以下、各課からの意見（要旨）**

**・現在行っている活動を継続するとともに、コロナ禍によって中止となった事業についても開催を検討したい。（健）**

**◎介護予防事業は65歳以上を対象としているが、65歳を過ぎてから健康づくりや介護予防を意識するのではなく、若いうちから健康づくりや介護予防を意識してもらえるよう、健康推進課や保険医療課と事業を連動させて立案できたらよいと感じる。（高）**